

洪水減災対策協議会における「減災に係る取組方針」を策定しました

河川課

■ 洪水減災対策協議会について

平成 28 年 8 月の台風第 10 号災害などの雨の局地化、集中化、激甚化を踏まえ、河川に係るハード整備とソフト対策を一体的に進めるため、平成 29 年に、国・県・市町村により、下記の 3 圏域における洪水減災対策協議会を設立しました。

【洪水減災対策協議会の設立状況】

主な対象河川	構成員
北上川上流洪水減災対策協議会 （H28.8.29 設立・H29.6.27 協議会を拡大）	
【一級水系】 北上川水系北上川、岩崎川、猿ヶ石川等 【二級水系】 大川水系大川等、津谷川水系津谷川 3 水系 184 河川	県：総務部長、県土整備部長、盛岡広域振興局土木部長等 市町村：盛岡市長等（15 市町長） 国：岩手河川国道事務所長、北上川ダム統合管理事務所長、 盛岡地方気象台長
馬淵川米代川新井田川圏域洪水減災対策協議会 （H29.5.31 設立）	
【一級水系】 馬淵川水系馬淵川等、米代川水系米代川等 【二級水系】 新井田川水系雪谷川等 3 水系 29 河川	県：総務部長、県土整備部長、二戸土木センター所長等 市町村：二戸市長等（6 市町村長） 国：盛岡地方気象台長 （アドバイザー）東北地方整備局
三陸圏域洪水減災対策協議会 （H29.5.24 設立）	
【二級水系】 久慈川水系、小本川水系、閉伊川水系、 甲子川水系、気仙川水系等 42 水系 99 河川	県：総務部長、県土整備部長、沿岸広域振興局土木部長等 市町村：宮古市長等（13 市町村長） 国：盛岡地方気象台長 （アドバイザー）東北地方整備局

■ 「減災に係る取組方針」の策定について

平成 29 年 8 月・11 月には、協議会に設置した幹事会により、各圏域における水防災に係る現状や課題について整理を行い、各圏域における取組方針について検討を行ってきました。

平成 29 年 12 月下旬、県内 3 圏域において洪水減災対策協議会を開催し、平成 29 年度から 5 年間で実施すべき減災に係る取組方針を策定しました。

今後、取組方針に基づき、大規模洪水時における「逃げ遅れゼロ」の達成に向けて、各構成員が連携して減災対策に取り組みます。

⇒今後5年間で実施する主な取組について、次ページ以降でご紹介します

【5年間で実施する主な取組】

□ 河道掘削、立ち木伐採の推進

- ・ 中小河川において大規模な浸水被害が発生していることから、平成29年度からの5年間に、計画的かつ重点的に河道掘削や立ち木伐採を進めていきます。



河道掘削の状況

□ 水位周知河川の指定拡大（5年間で20河川を指定）

- ・ 県内の防災拠点や資産集中区域を均一にカバーできるように、洪水予報河川や水位周知河川が未指定の市町村（旧市町村）に水位周知河川の指定を進めます。
- ・ また、平成28年8月に発生した台風第10号で甚大な被害を受けた河川や近年被災を受けた河川について、指定を進めます。



○●川 今後5年間で指定予定の河川
 ○○川 指定済み河川

【水位周知河川指定5ヵ年計画】

H29	小本川（岩泉町）、安家川（岩泉町）
H30	稗貴川（花巻市）、千厩川（一関市）、大川（一関市）、松川（八幡平市）、胆沢川（奥州市）、諸葛川（滝沢市、盛岡市）、雫石川（雫石町）、馬淵川（葛巻町）、北上川（岩手町）、和賀川（西和賀町）、閉伊川（宮古市）、普代川（普代村）、宇部川（野田村、久慈市）
H31	岩崎川（紫波町、矢巾町）、人首川（奥州市）
H32	小本川（岩泉町）、安家川（岩泉町）、小烏瀬川（遠野市）、
H33	刈屋川（宮古市）、長沢川（宮古市）

□ 水位計・危機管理型水位計・水位監視カメラの設置拡大

- ・ 水位周知河川に指定したいが水位計が未設置の河川について、水位計の設置を進めます。
 - ・ 水位計が未設置の河川等については、現在国において開発を進めている危機管理型水位計の設置を進めます。
 - ・ 水位監視カメラの設置を行い、平成30年3月から画像の配信を開始します。
- ※ 危機管理型水位計：国が開発を進めている洪水時のみの水位観測に特化した水位計であり、長期間メンテナンスフリーや初期コストの低減（約100万円/基）を目指している。

【水位計設置5ヵ年計画】

H29	小本川（岩泉町）
H30	刈屋川（宮古市）、長沢川（宮古市）、久慈川（久慈市）、葛根田川（雫石町）
H31	浦浜川（大船渡市）、普代川（田野畑村）、大野川（洋野町）
H32	田代川（宮古市）、川尻川（洋野町）、大川（岩泉町）
H33	



水位監視カメラの画像配信イメージ

